

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス アクスウイングX	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.060	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アクスウイングX

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番

比較対照ボール：アクスウイングIX

フレアーの幅 インチ

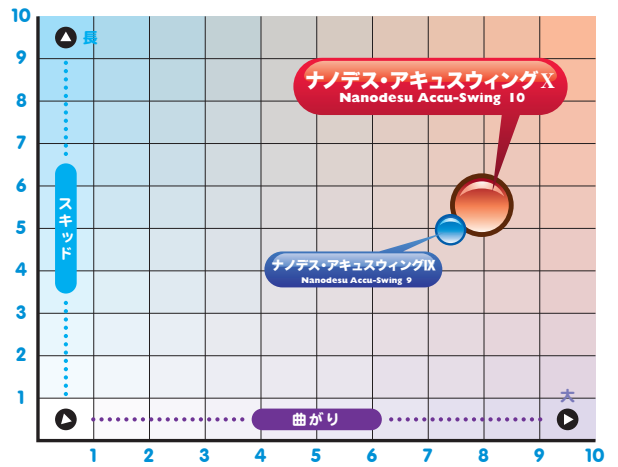
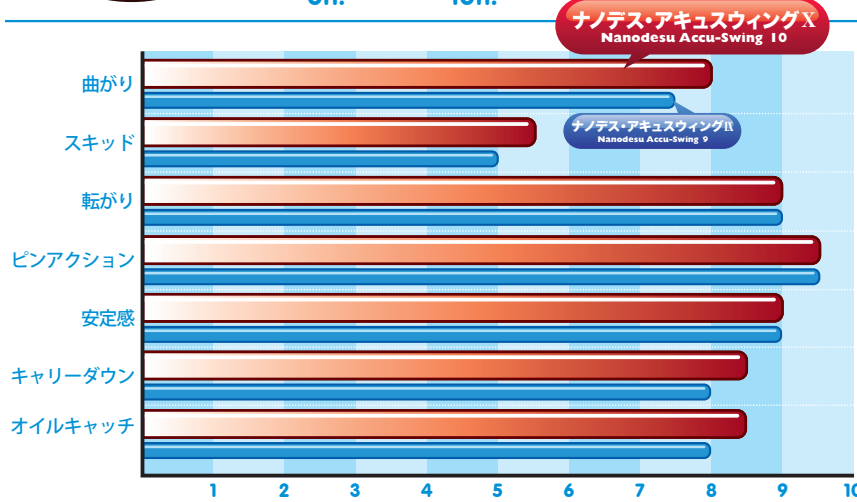
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil Light to Medium Medium Oil Medium to Heavy Heavy Oil	Smooth Smooth to Arc Arc Arc to Sharp Sharp Angle	Early Roll Early to Med Med-Lane Med to Late Late Roll

ボールの評価

2011年7月下旬から始動したAccu-SwingシリーズもこのXで完結します。Accu-Swing最終章のXに相応しくポリッシュ状態で一番ドライゾーンでのグリップ力の高い新開発のNanoxo Pearl Plus With Fullerene C60を使いました。このカバーストックはPearl素材ながら吸油性に優れていて、今までのAccu-Swingで一番よりキャッチとスキッドを高いレベルで上げることができています。そのカバーでAggressiveなバックエンドを担うのがIXでも使用したModified VVI core With Magnetコアです。コア形状は変更せずに比重のみ変更する事でUSBC最高規定値まで引き上げました。手前の転がりの良さとバックエンドのネジレ感が大きいのが特徴で、強めのIntDiff(0.020)がブレイクポイントを安定させます。衝撃吸収コアシステムはアウターシェル7mm+インナーシェル硬度調整によるシステムで、ピンヒットで現れる衝撃を吸収させ、柔らかいピンアクションとタップを軽減、ナノデスシリーズ特有にして無比の飛びを魅せます。Testの段階でNanodesu男子キャプテン田坂大輔プロがこのAccu-SwingXでパーフェクトを出すなど、発売前からTesterの評価も高く、満場一致で自信をもって発売することができます。

思い起こせばABS R&Dチームが英知を結集しAccu-Swingシリーズを発表してから早いもので3年強、シリーズの最後に相応しい逸品が完成しました。レーン上をCopper色に輝きながらクリーンに走り鋭いキレを魅せるアクスウイングXは、きっとすべてのボウラーを虜にするでしょう。

特記事項

Nanodesu Accu-Swing 最終章に相応しく、最高峰のテクノロジーに裏付けされたパフォーマンス。このボールを投げずして、Accu-Swingは語ることはできません。